

京都あぐい便り



近畿農政局京都府拠点
発行: 令和5年5月30日

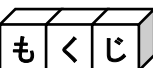
写真:綾部市「藤」

P1・・・令和5年度『農村プロデューサー』養成講座の開催について

P2・・・「令和5年農作業安全ポスターデザインコンテスト」の開催 / 「漬物で野菜を食べよう！」の取組について

P3・・・現場だより「農福連携で障害者が主役となり、地域に貢献できる事業所を目指す！」三休合同会社（京田辺市）

P4・・・おいしい日本茶、見つけに行こう！ / 近畿農政局京都府拠点からのお知らせ



令和5年度『農村プロデューサー』養成講座の開催について

～地域に消えない火を灯せ～

今、農林水産省が所管する対策に限らず、地域づくりに関するあらゆる場面で、地域での話し合いが求められています。本講座は、そのように地域と直接関わり、伴走しながら、地域づくりを行うことができる人材の養成を目指しています。

講座スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入門コース(オンライン講演)			全6回									
実践コース			2日間 (オンライン)									
①オンライン講義			受講 申込 受付 期間									
②実例を基にした 模擬演習					3日間の対面講義 ※8会場から1つ選択							
③研修生自らの 実践活動					オンラインゼミ 実践前1回	研修生 地元で実践	オンラインゼミ 実践後1回					
修了生ネットワーク							ネットワーク構築へ					

一緒に、地域に消えない
火を灯していきましょう！



(イメージ) 地域住民と農村プロデューサー

【講座の概要】

講座は二種類のコースで構成されています。どちらのコースも受講料は無料です。

○入門コース

地域づくりに関する学識経験者や実践者から、自身の研究や活動について講演をいただき、農山漁村地域における創意工夫にあふれる地域づくりのプロセスを習得します。どなたでも参加可能なオンライン配信(ライブ)で、5月から6月にかけて全6回開催します。

○実践コース

対面での模擬演習や、研修生の実践活動を題材としたゼミを行うなど、現場力を身に付けるための実践的な研修コースです。地域計画(旧人・農地プラン)の作成や農村RMO(農村型地域運営組織)の組織づくりなど、地域のなかでの対話が求められる昨今、経験豊富な地域づくりのスペシャリストから、それらのノウハウも学ぶことができます。受講には、事前の申込みが必要です。

【ウェブサイトアドレス】

※申込方法等詳細については、以下のホームページを参照願います。

「農村プロデューサー養成講座」農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/index.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室

代表:03-3502-8111(内線5535) ダイヤルイン:03-6744-2203

農林水産省



「令和5年農作業安全ポスターデザインコンテスト」の開催

農林水産省は、春の農作業安全確認運動の一環として、農作業安全に対する国民意識の醸成及び効果的な推進を図るため、農作業安全を広く呼びかける「農作業安全ポスターデザインコンテスト」を開催します。

応募方法等詳細につきましては、以下のウェブサイト（令和4年入賞作品）トアドレスをご覧ください。

【ポスターデザインの募集テーマ】

「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

【募集期間】

令和5年4月27日（木曜日）から

6月27日（火曜日）まで（当日消印有効）

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/sizai/230427.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農産局技術普及課生産資材対策室

担当者：農作業安全班 鬼塚、安藤

代表：03-3502-8111（内線4774）ダイヤルイン：03-6744-2111



～農林水産大臣賞～



「漬物で野菜を食べよう！」の取組について

農林水産省では、1日当たりの野菜摂取量の平均値280g程度を、目標値の350gに近づけることを目的として、「野菜を食べようプロジェクト」を実施しています。この度、「野菜を食べようプロジェクト」の一環として、「漬物」で野菜の消費拡大を図るための取組を実施することとしましたので、お知らせします。

【主な取組内容】

- (1)「漬物で野菜を食べよう！」チラシによる情報発信
- (2)「漬物グランプリ2023」（主催：全日本漬物協同組合連合会）の農林水産大臣賞の授与
- (3)「野菜の日（8月31日）」Webシンポジウムの開催

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/230426.html>

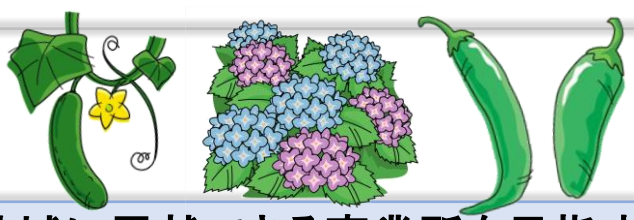
【お問合せ先】

農林水産省 農産局園芸作物課 担当者：中村、高畑、藤富

代表：03-3502-8111（内線4791）ダイヤルイン：03-3502-5958



現場だより



農福連携で障害者が主役となり、地域に貢献できる事業所を目指す！

三休合同会社 サービス管理責任者 世古口 敦嗣さん(京田辺市)

京都府京田辺市で、農福連携の取組を行っている三休(さんきゅう)合同会社(以下「三休」という。)を訪問し、サービス管理責任者の世古口 敦嗣(せこぐち あつし)さん及び目標工賃達成指導員の八木 慎一(やぎ しんいち)さんにお話を伺いました。(取材:2023年5月)



向かって右から世古口さん、八木さん

農業経験ゼロから農福連携に取り組む

三休は、農業を中心に障害者が働く就労継続支援B型事業所で、現在23名の障害者が通所しています。

チャリティーアパレルブランド会社JAMMIN合同会社の農業部門として、2019年4月から農福連携の取組を開始、2021年4月に分社化して三休合同会社を設立。

一休寺にほど近く、一休禅師の言葉「ありのままに生きること」を行動指針として、自分のペースで働ける環境づくりを大切にしているとのことでした。

2022年度ノウフクアワードでは、フレッシュ賞を受賞。

農業とカフェの運営等を行い、それぞれの障害者に合った働き方を提供

農業を始めた当時は誰も農業経験がなく、世古口さんが近くの農業者に農業を教わり、それを三休が借りている畑で、障害者と一緒に実践する形で農業経験を積まれてきました。

現在、京田辺市内に4箇所、約50aの畑を借り受け、万願寺とうがらしやハーブなどを栽培。万願寺とうがらしは主にJAに出荷、ハーブは三休が運営するカフェでハーブティーとして提供するほか、ティーバッグに加工して直売所やカフェで販売を行っています。

農業と併せてハーブの加工やカフェの運営等を行うことで、それぞれの障害者に合った多様な働き方が可能になりました。



障害者と一緒に農作業に従事

ハーブの需要拡大や地域に貢献できる事業所を目指して

ビール会社とコラボしてハーブ入りビールの開発や京都市内の和菓子屋とハーブを使ったマカロンの開発など、ハーブの需要(売り先)を広げることで収益の向上に繋げて行きたいとのことでした。

また、地域の農道・水路の管理作業等に積極的に参加することで、地域の農業者との繋がりができ、農業者の高齢化等が進む中で、地域に貢献できる事業所となることを目指しているとのことでした。



万願寺とうがらしとハーブティーバッグ

三休ホームページ <https://3-kyu.com/>

農林水産省



おいしい日本茶、見つけに行こう！

～「出かけよう、味わおう！キャンペーン」スタート～

農林水産省は、新茶イベントなどを通じて日本茶の味わいを知ってもらい、生活の中に日本茶を取り入れてもらうため、消費者を惹きつける多彩な取組を行う茶産地や、茶専門店、飲食店等の事業者と連携して情報を発信するキャンペーンを始めます。

1 お茶の楽しみ方を提案している産地や事業者の方々から情報をお寄せいただきます

茶産地、茶専門店、レストラン、カフェ、お茶飲料関係事業者等の皆さま！

- ① 新茶をはじめ日本茶の魅力を味わえるイベントや体験の内容
(数フレーズ程度)
- ② 日本茶の魅力をつづった記事
(文章や動画)

を農林水産省へお寄せください！随時更新します。
応募お待ちしております。

応募はこちらへ nihoncha_kurashi@maff.go.jp



2 皆さまから提供戴いたメッセージ・記事をキャンペーン特設ウェブサイト・SNSで情報発信します

【ウェブサイトアドレス】

「キャンペーン特設ウェブサイト」農林水産省ホームページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/dekakeyou.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農産局果樹・茶グループ

代表：03-3502-8111(内線4794) ダイヤルイン：03-6744-2194



近畿農政局京都府拠点からのお知らせ

近畿農政局京都府拠点では、メールマガジンを発行し、プレスリリース等の公表、農林水産施策の紹介等を行います。メールマガジンは、月2回をめぐりに発行しており、どなたでもご利用いただけますので、ぜひご登録ください。

【ウェブサイトアドレス】

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/mailmagakyoto.html>



【ワード検索】

京都府拠点メールマガジン



お問い合わせ先：近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL：075-414-9015

ホームページ：<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>

